

# 内浦学区 地域まちづくり計画

—訪ねてみたい多島美と癒しの島 訪ねて良かったもてなしの島—



【内浦山憩いの森山頂から望む内海大橋】

2014年（平成26年）3月  
福山市内浦学区まちづくり推進委員会



# 目 次

1	内浦学区の概要 多島美と漁業の島・内浦学区	-----	1
	学区まちづくり推進委員会委員長 藤原 宏		
2	内浦学区の景勝地および史跡と年中行事		
	(1) ふるさとの風景(景勝地)	-----	2
	(2) ふるさと田島の行事と伝統文化	-----	3
	(3) 内浦学区まちづくり推進委員会年間事業紹介		
	A 地域まちづくり推進事業	-----	4
	B キーワードモデル事業	-----	5
	C 「やぶ椿と水仙の里」再生のあしあと	-----	6
3	地域まちづくり計画策定に向けて		
	(1) 地域まちづくり計画策定のためのアンケート	-----	7, 8
	(2) 地域まちづくり計画策定アンケート結果	-----	9
	(3) 地域まちづくり計画アンケート意見集		
	① まちづくりアンケート自由筆記	-----	10, 11
	② 福祉を高める会で取り組んで欲しい内容		
	③ 自治会で取り組んで欲しい内容		
4	地域まちづくり計画・事業内容		
	(1) 年次別事業計画		
	①教育～⑤安心・安全	-----	12
	⑥歴史・文化・産業～⑨人権	-----	13
	(2) 次世代育成事業および四季の風景		
	(3) 古戦場「矢の島」と源平合戦「矢の島伝説」	-----	14
5	ようこそ「多島美と癒しの里」へ		



やぶ椿と水仙の里にて 2014年2月

# 1 内浦学区の概要

## 多島美と漁業の島・内浦学区

内浦学区まちづくり推進委員会 委員長 藤原 宏

白いアーチ橋「内海大橋」で結ばれた瀬戸内に浮かぶ島、そこが内海町です。内海町は、田島と横島の二つの島からなり、内浦学区は、その田島東部に位置します。釜谷、内浦、寺山、沖、箱崎、5つの自治会から構成されています。人口は750余名で270世帯が生活しています。



田島東部学区は、周囲を瀬戸内の豊かな海で囲まれ、小型船漁業の盛んな半農半漁と自営業の町です。東西の潮流が出合う潮目は豊かな漁場となり、鯛やヒラメ、イカやクロギ等の魚群を育み地域を潤してきました。



しかし、第一次産業の退潮と関わって内海大橋開通後は、福山・松永方面に通勤・居住する者が増え、保育園児と小学校児童の人数が減少してきています。

春の定置網漁業や冬期の海苔生産が盛んで、箱崎内浦では、海苔工場がフル稼働するなど、広島県一

の生産量を誇っています。



少子高齢化の進行する中、内浦学区まちづくり推進委員会では、地域住民のふれあいと交流、地域の活性化をめざした活動を展開しています。保育所・小学校・地域の合同運動会や文化祭、環境美化活動や「まちづくり視察研修事業」を実施する一方、次世代育成事業「ワクワクひろば」や生涯学習事業「いきいき楽習」に力を入れています。また、環境・教育・福祉・活力のテーマに沿って、キーワードモデル事業に取り組み、「花と海と自然」を生かした地域づくりを進めました。「やぶ椿と水仙の里」再生事業では、三百年のやぶ椿と日本水仙自生地保護再生を通し、多島美を楽しめる癒しと憩いの場を提供するなど、地域資源の再発見と情報発信に努めました。内浦学区の主な行事には、1月ー初日の出参拝（憩いの森）とんど（内浦小）、4月ー花見会（憩いの森）、5月ー保・小・学区合同運動会（内浦小グラウンド）、9月ー敬老会、10月ー東部文化祭（内浦小学校体育館）、11月ー学区視察研修等です。地域活動では、春と秋の一斉清掃や山の神祭典があります。田島漁協の定置網観光（4月～）、さかな祭（5



月箱崎漁港）、通年の魚販売や海苔の栽培と製造販売も地域の大きな産業です。

東部自治会連合会は、公衆衛生・防火防災・交通防犯・明るいまちづくりの4部会が東部地域の安心安全と活性化をめざして活動しています。特にここ数年は、自治会連合会として鳥獣被害防止をめざして、地域ぐるみで箱罟設置と猪被害防止に取り組み、これまで300頭以上の猪を駆除するなど、地域の要として活動しています。

また、学区福祉を高める会では、各自治会でボランティア活動・サロン等を実施、福山市お出かけ支援事業では、おたすけ号の運行を行い、高齢者の通院・買い物支援活動を行ってきました。

今後は市制施行100周年に向け、このたび新たに策定した「地域まちづくり計画」に基づき事業に取り組んでまいります。ふるさとである内浦学区の更に輝かんことを願っています。

## 2 内浦学区の景勝地および史跡と年中行事

(1) ふるさとの風景〈景勝地〉 この風景を変わず、未来に伝えよう！

①釜谷の浜から見る内海大橋



②内海大橋から眺める夕焼け



③憩いの森から見る内海大橋



④憩いの森第2展望台の展望



⑤憩いの森広場（鹿の親子）



⑥憩いの森山頂の山桜



⑦矢の島（伝説の島）



⑧クレセントビーチの砂浜



⑨海苔網の彼方に昇る朝日



⑩王太子宮 3本の大棕樹



⑪箱崎漁港 漁船



⑫箱崎漁港 魚霊塔



⑬箱崎 鳶が巣海岸



⑭明神浜 イリコ工場と砂止め



⑮島四国 88 札所（寺山）



☆ 私たちのふるさと田島には、誇るべき歴史と風景があり、その保護と継承が私たちに与えられた使命です。

(2) ふるさと田島の行事と伝統文化

残そう、そして伝えよう。未来へ。

①憩いの森 初日の出参拝



②内浦とんど



③憩いの森花見会(自治連合会)



④内浦保育所 夏まつり



⑤定置網観光



⑥クレセントビーチ海開き



⑦合同運動会 (大玉転がし)



⑧イノシシ駆除 (自治連合会)



⑨文化祭 「西海の彼方へ」



⑩サロン (福祉ボランティア)



⑪おたすけ号 (福祉を高める会)



⑫住民学習 (人権尊重の地域)



⑬海苔の種付け



⑭海苔の刈り採り



⑮那須堂・四ツ堂 (内浦)



⑯夏の奉仕活動(中学生と地域) ⑰山見 (村上水軍見張り台)



⑱王太子宮 (敷島宮)



### (3) 内浦学区まちづくり推進委員会 年間事業紹介

#### A. 地域まちづくり推進事業

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| ① ワクワクひろば        | (6月～3月 内浦公民館ほか)    |
| ② いきいき楽習講座       | (5月～3月 内浦公民館ほか)    |
| ③ 地域合同運動会        | (5月26日 内浦小学校グラウンド) |
| ④ 地域文化祭          | (10月27日 内浦小学校体育館)  |
| ⑤ まちづくり視察研修      | (11月17日 高知県馬路村探訪)  |
| ⑥ ふるさと発信活動       | (6月～3月 内浦公民館・各自治会) |
| ⑦ 環境衛生・美化活動      | (5月～3月 春・秋の地域清掃)   |
| ⑧ 人権啓発活動         | (8月～10月 学区内各集会所)   |
| ⑨ まちづくり推進委員会運営事業 | (通年 内浦公民館及び地域内)    |



ワクワクひろば(次世代育成) 櫓こぎ教室



いきいき楽習(生涯学習) 陶芸教室



視察研修(森林鉄道とゆずの村) 馬路村



地域文化祭(太鼓演奏) 和太鼓響組

ズームアップ!!

## ウチの地域まちづくり

青い海とさかな 多島美と日本水仙の楽しめる内浦学区

福山から車で30分。白いアーチ橋“内海大橋”を左折。海岸線に沿って前進。船を係留した栈橋が見える。左に進むと、源平の古戦場「矢の島」、坂を登ると箱崎漁港へと繋がる。春は憩いの森の桜と定置網。夏はクレセントビーチ海水浴場と魚釣り。秋は紅葉。冬は海苔製造と日本水仙。四季を通して、瀬戸内の多島美と漁船の織りなす癒しの風景が楽しめる内浦学区。初日の出参拝・とんど・花見会・地域合同運動会に文化祭・視察研修等を通し、絆を深めるまちづくりに挑戦している。



箱崎漁港での大漁節



小畑の日本水仙

## B. キーワードモデル事業 最終年【テーマ 活力】

目標 内浦学区の宝を再発見し、地域活性化に繋げよう。ー地域活性化でまちづくりー

### ①事業概要

「やぶ椿と水仙の里」の再生を進め、園内整備と「やぶ椿と自生水仙」保護活動を定例化した。

### ②事業内容

- (ア) 「やぶ椿と水仙の里」・「協働のばら花壇」の草取り整備作業（6月～3月の毎月1回）  
（田島・小畑，やぶ椿と水仙の里まちづくり推進委員会と地域ボランティア）
- (イ) 「やぶ椿と水仙の里」 散策路再設置，ミモザ移植，ベンチの増設・動物オブジェの設置  
（10月～2月 学区まちづくり推進委員会と地域ボランティア）
- (ウ) テレビ・ラジオ・新聞の取材と放映及び紹介 ー昨年度の状況ー  
（NHK，RCC，TSS，HTV，FMふくやま，毎日，読売，山陽，中国，福山リビング新聞社）
- (エ) 「田島案内・やぶ椿と水仙の里楽しみ方パンフレット」作成と来園者への配布説明  
（12月～3月 内浦公民館・やぶ椿と水仙の里にて）
- (オ) やぶ椿の保護と水仙掘り出し作業および学区内花壇への移植  
（一昨年2月末 学区まちづくり推進委員会，地域ボランティアで実施）
- (カ) 来訪者への案内と地産地消の推進（地元産味付海苔・でべら煎餅・餅・ミカン類の紹介と販売）  
（水仙の里開園時期の1月～3月の週末・休日ほか，地域ボランティアさん）



やぶ椿と水仙の里(月1回のボランティア作業) Talk and ハーモニカコンサート in 水仙の里

### ③成果

- (ア) まちづくり委員会と地域ボランティアの協働作業で「やぶ椿と水仙の里」再生が着実に進んできた。
- (イ) 案内看板設置やマスコミ報道により，来園者が増加するに伴いリピーターも増えた。介護施設や町外の諸団体がマイクロバスで訪れる等，多くの人に散策と癒しの場を提供することが出来た。
- (ウ) 次第に，福山市や広島県内の多くの人たちに，パワースポットとして知られるようになった。
- (エ) 学区内ボランティアの定例奉仕作業により，いつ来ても奇麗で楽しめる公園に整備された。

### ④課題

- (ア) 樹齢300年のやぶ椿の西側が衰えているので，この対策と保護が急務となっている。根の部分への栄養供給と定期的な灌水，葉面散布などが不可欠な状況である。
- (イ) 「多島美と癒しの里」として，地域活性化や地産地消推進に繋げていきたい。ふるさとを守るボランティア会員を募り，周辺耕作放棄地解消と併せて，更に再生活動を進めたい。

### ⑤行政との協働の取組内容

- (ア) 福山市情報政策課の協力で，市ホームページ（福山ナウ）に「やぶ椿と水仙の里」のリアルタイムな掲載を行った。田島東の耕作放棄地解消について，福山市の積極的な支援を請う。

### C. 「やぶ椿と水仙の里」再生のあしあと



内海町田島小畑の瀬戸内海を見渡せる緩やかな斜面に、竹と葛の藪に埋もれた樹齢300年のやぶ椿と日本水仙の群落があった。2009年の1月、「水仙は咲いていますか」というNHKからの問い合わせが契機で、保護再生に繋がった。8月から、2010年3月にかけて、ボランティア数人が、椿を覆った葛とクイを取り除いた。そして、草を刈り竹藪を切り、スコップで竹の根を掘り起こし、焼却しながら、連日の整備作業が始まった。

2010年5月、地主の了解が得られたので、まちづくり総会において、学区キーワードモデル事業としての承認を受けた。以来、多人数での再生作業が始まり、ユンボでの掘り起こしや、巡回路・入場門の設置、水仙の移植も行われた。2011年2月には、ラジオ、新聞、テレビで取り上げられ、来園者が急増。急遽、道案内の設置をするなど対応に迫られた。パンジーやハーブも植え、季節感を表す桜や紅葉も移植した。

園内のデザインは、「花工房みほ」の協力を仰ぎ、波や島をイメージした花壇や巡回路に、潮風に強く手間をとらない品種を植え、椿の根周辺には、立ち入り制限を示す花壇を設けるなどの指導を頂いた。作業は全て、学区住民のボランティアで行い、3500㎡に6万本の日本水仙が咲く「やぶ椿と水仙の里」に生まれ変わっていった。

2012年には、工房「島人」によるベンチを増設。水仙の移植体験も企画した。「何かお土産はないの？」という来園者の要望に応え、地域特産物「味付け海苔」等の紹介と販売も始め、おもてなしの充実に努め、来園者増を願った。折も折、「いまからいくけんどう」のTV放映や新聞報道で、「やぶ椿と水仙の里」「太刀魚井」「田島海苔」などが発信、クローズアップされ、多い日には、400人の来園者があった。

これまで、内浦学区では、毎年秋に視察研修を行い、長島愛生園・宅老所あんき・水木しげる記念館・金子みすゞの仙崎・高知県馬路村を探訪してきた。住民学習では、一人一人の人権とまちづくりを関連させて、「たかし君命の記録・黒川温泉再生・振り込め詐欺犯人逮捕・地域再生やねだん・里山資本主義」等のドキュメンタリーを活用し、“輝いて生きる”に焦点を当てた地域づくりと学習を継続してきた。

公民館だよりへの、「やぶ椿と水仙の里は今！」の連載（奉仕活動紹介）と合わせて、公民館事業「にこにこコンサート」を水仙の里で開催するなど、里山再生や地産地消への関心も高まってきている。

天気の良い日には、キラキラと輝く瀬戸内の海の彼方に、新居浜や四国山脈が望めるなど、300年のやぶ椿と日本水仙、多島美を楽しめる癒しの里として確実に再生されて来ている。来年度からは、周囲の耕作放棄地解消事業と合わせて、小畑地域一帯は、ミカン狩り・柿狩り・ぶどう狩りや桜並木でお弁当を食べる、蕎麦を蒔いて刈る、石窯を据るなど、四季を通して楽しめるワンダーアイランドへと生まれ変わろうとしている



### 3 地域まちづくり計画策定に向けて

#### (1) 地域まちづくり計画策定のためのアンケート

2013年8月2日

内浦学区の皆さまへ

内浦学区まちづくり推進委員会 委員長

藤原 宏

#### 内浦学区「地域まちづくり計画」策定のためのアンケート調査（お願い）

福山市では現在、市制施行100周年となる2016年(平成28年)に向けて、「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」を策定し、自主・自立のまちづくりを進めています。これまでの「学区キーワードモデル事業」は今年度で終わり、来年度からは、「第2次福山市協働のまちづくり行動計画」に基づき策定する「地域まちづくり計画」に沿った取り組みを新たにスタートしたいと思います。この「地域まちづくり計画」は、地域住民自身が「地域のめざすべき未来像や地域課題・生活課題」を出し合い取りまとめるもので、これからの内浦学区まちづくりの「柱」となりますので、地域住民で内容やイメージを共有する必要があります。

そこで、学区まちづくり推進委員会では、アンケート調査を実施し、皆さんの「願いや思い、考え」をまとめ、「地域まちづくり計画」として策定する事にいたしました。

つきましては、別紙アンケート調査にご記入の上、8月13日までに、各自治会長さん、又は班長さんまでご提出くださいますようよろしくお願い致します。

助け合いで 絆深まる内浦学区創生！

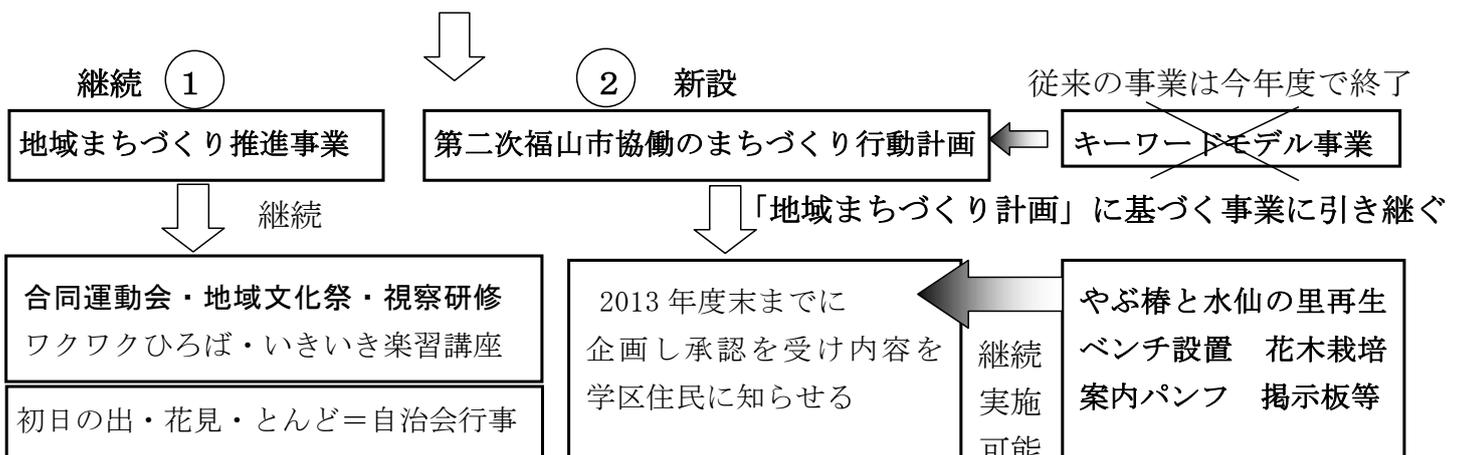


福山市を象徴する「ばら」をモチーフに、人々が集い共に支え合い、より良いまちづくりに参加する様子をデザインしたもの

- 1 提出先 各自治会長さん（班長さん）
  - 2 締め切り日 8月13日（火）までに
  - 3 今後の予定 共感と協働と笑顔
    - ① 8月末までに アンケート調査の集計
    - ② 9月 アンケート調査結果のまとめ
    - ③ 10月 協働のまちづくり計画策定委員会設立
    - ④ 11月 学区まちづくり推進委員会臨時総会開催
    - ⑤ 12月 地域まちづくり計画の申請
    - ⑥ 1月～ 地域まちづくり計画の承認と推進
- 2013年度内に「地域まちづくり計画」作成を完了！

〈参考〉

内浦学区まちづくり推進委員



内浦学区「地域まちづくり計画」策定のためのアンケート用紙



ア： 質問に対して該当する内容を○でかこんでください。

1 あなたの住んでいる地域はどこですか。

1 釜谷 2 内浦 3 寺山 4 沖 5 箱崎

2 あなたは、男性ですか、女性ですか。 1 男性 2 女性

3 あなたは、どの世代ですか。

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80歳以上

イ： 学区まちづくり事業として、新規に、また今後も継続して取り組めば良いと思うものを5つ以内で選んでその番号を書いてください。

1 毎月第3金曜の朝のあいさつ運動 2 内浦湾の清掃 3 あき缶ひろい

4 やぶ椿と水仙の里再生 5 憩いの森 桜や花の移植 6 憩いの森登山道整備

7 通学路の草刈り 8 新涯住宅西の畑を子ども交流公園に整備 9 動物オブジェの設置

10 大畑～南のミモザの整備 11 農道・避難道路の草刈り整備 12 海岸道路脇の草刈り

13 二本松公園の雑木伐採 14 地域巡りパンフレットの印刷 15 地域案内看板の設置

16 札所・史跡案内板・説明板設置 17 地域のイノシシ柵設置 18 ウォーキング散歩道路整備

19 災害時の避難所・備蓄基地の確保 20 地震避難訓練の実施 21 食事所(食堂)の新設

22 空き家の整備貸し出し 23 危険建築物・家屋の取り壊し 24 高山への登山道を整備

25 クレセントビーチの活用 26 魚・野菜の朝市開催 27 海苔の工場見学 28 クルージング

29 スイム&ラン大会開催 30 サイクリングロード整備 31 駐輪場の整備 32 釣り場整備

33 お魚料理教室の開催 34 魚ミンチの製造販売 35 ミカン狩り農園確保 36 地産地消推進

37 地元でのイベントの開催

--	--	--	--	--

ウ： 「地域まちづくり計画に基づく事業」(年間30万円助成)として、イ:で選んだ項目の追加説明や学区まちづくり推進委員会で取り組んだら良いと思う内容、更には、ご自身の要望などを自由にお書きください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

ご協力ありがとうございました。調査用紙は、封筒に入れて  
8月13日までに各自治会長さん(班長さん)までお出しください。

## (2) 「地域まちづくり計画」策定アンケート結果

8月に内浦学区で実施したアンケートの集計結果は次の通りです。

### ①アンケート項目選択形式の集計結果

No	項目・内容	人数	教育	環境	活力	交流	情報発信	歴史文化	安心安全
1	あいさつ運動	6	○		○	○			○
2	内浦湾の清掃	7	○	○		○			
3	空き缶拾い	13	○	○					○
4	やぶ椿と水仙の里再生	15		○	○	○			
5	憩いの森桜紅葉移植	12		○	○	○			
6	憩いの森登山道整備	8			○	○			
7	通学路の草刈り整備	10	○	○					○
8	子ども交流公園整備	10		○	○	○			○
9	動物オブジェ等設置	1		○	○	○			
10	ミモザ道路の世話	2		○				○	
11	農道避難道路の整備	21		○					○
12	海岸道路県道草取り	8		○					○
13	二本松公園の雑木伐採	5		○	○	○			
14	地域巡りパンフレット作成	4	○			○	○	○	
15	地域案内看板設置	9				○	○		
16	札所史跡案内説明設置	3	○			○	○		○
17	地域イノシシ柵の設置	28		○	○				○
18	ウォーキング道路整備	4		○		○	○		
19	避難所・備蓄基地確保	23				○			○
20	地震避難訓練の実施	9	○			○			○
21	食事処（食堂）新設	3			○	○			
22	空き家整備貸し出し	21		○	○	○			
23	危険建築物取り壊し	13		○					○
24	高山への登山道整備	2		○	○	○			
25	クレセントビーチの活用	17			○	○			
26	魚・野菜の朝市開催	15			○	○			
27	海苔の工場見学	3	○		○	○		○	
28	ワコイン・クルージング	1			○	○			
29	スイムラン大会開催	3		○	○	○	○		
30	サイクリングロードの整備	6			○	○		○	
31	サイクリング駐輪場整備	1			○	○			○
32	魚釣り場の整備	4		○	○	○			
33	魚料理教室の開催	1			○	○		○	
34	魚のミンチ製造販売	3			○			○	
35	ミカン狩り農園確保	1		○	○	○			
36	地産地消の推進	8			○	○			○
37	地元でのイベント開催	11			○	○	○		
分野別集計数		311	8	19	24	29	6	6	13

### ②アンケートの選択項目、まちづくり事業について（要約）

- ・やぶ椿と水仙の里の再生 ・憩いの森の桜や花の移植 ・沖新涯団地に子ども公園設置
- ・海岸道路、通学路、農道などの草刈り整備 ・地域案内看板の設置 ・イノシシ柵の設置
- ・災害避難所/備蓄基地確保 ・災害避難訓練実施 ・空き家貸し出し ・地元でイベント開催
- ・魚や野菜等の朝市開設 ・危険建築物や古い家屋の撤去 などが選択されました。

### ③学区からの自由筆記による要望や意見などについて（要約）

- ・「やぶ椿と水仙の里再生」は、地域力の発揮であり、今後も継続していきたい。
- ・「二本松公園」の雑木を切り払って、瀬戸内の展望台として後世に残したい。
- ・沖新涯住宅西の畑をどろんこ公園として整備し、子どもと大人・高齢者の交流広場にしたい。
- ・来訪者が、「田島に来て良かった」と言って帰られるようなおもてなしの町にしたい。
- ・魚や野菜の朝市など、クレセントビーチの夏以外の活用方法を工夫したらよい。

### (3) 地域まちづくり計画アンケート意見集

#### ①まちづくりアンケート項目への追加説明や選択項目以外の要望などを自由に筆記。

- ◇ 魚や野菜の朝市を、週に1～2回やってほしい。
- ◇ 地震災害などの非難訓練が年1回あるといいと思う。
- ◇ 通学路の草刈りを年2回してほしい。
- ◇ 道路沿いに、各地域で色々な花・野菜などを植えたらいいと思う。
- ◇ 見学に来ていただいても軽食ぐらい出来るような施設がほしい。
- ◇ 農道避難道路の草刈整備をすれば、ウォーキング散歩道も整備につながり、サイクリングロード等にも利用できる。
- ◇ 箱崎の鳶の巣が景観よく、伺い観音寺を作り、地場産の魚料理で人集めはどうか。
- ◇ 田島に来て「今日一日楽しかった」癒しを求めて行くなら田島と言われるようにする
- ◇ ボランティア活動が出来る様に、人材育成をする必要がある。
- ◇ みかん狩りを行うように、みかんを作っている方をお願いして、みかん狩りが出来るように、してほしい。
- ◇ 釣り場の整備がほしい。
- ◇ スイムやラン大会開催されるとにぎわうと思う。
- ◇ やぶ椿と水仙の里再生について、地域の観光資源の発掘と修景整備により、ふれあいの場とする。水仙の里以外にも耕作放棄地の有効活用を考えてはどうか。観光客の方にも来ていただき、今後もこの事業を継続してほしい。
- ◇ 農道・避難道路の草刈整備について、雑木等の伐採により、海を遠望できて景観をよくする。
- ◇ 二本松公園の雑木伐採について、雑木等の伐採により、海を遠望できて景観をよくする。
- ◇ 災害時の避難場所・備蓄基地の確保について、避難場所の津波被害による安全を検証する。
- ◇ 空き家の整備貸し出しが一番依頼したい。空き家の整備貸し出しを行い地域活性化する。
- ◇ 空き家の整備、貸し出しについて、空き家情報の発信も何かあったらよいと思う。家屋の取り壊しは市政にゆだね、了解を取って家屋の早い取り壊しが望まれる。
- ◇ 田島の豊かな自然の中で子育てをしたい。安心して子どもを遊ばせる場所が必要である。
- ◇ 沖・内浦には子ども達が集い遊ぶ場、幼児、乳児の散歩中に、ちょっと寄れる場所がほしい。
- ◇ 新涯住宅西の畑を子ども交流公園に子どもが遊べる公園が近くにないのでぜひ。イノシシのいない遊び場。門と柵を設置したい。
- ◇ 新涯住宅に公園が設置されていない。近くにのびのびと遊べる場所があるといいと思う。
- ◇ 地域案内看板の設置・札所・史跡案内板・説明板設置・他地域・地方に、地域の魅力発信。

- ◇ 地域案内看板の設置について、よく道を聞かれるので、内海大橋を下ったところ（釜谷と天満）に大きい看板を設置する。わかりやすく絵も入れる。
- ◇ 町をきれいにして子どもが増えるよう、道路わきの垂れ下がっている雑木を伐採したい。
- ◇ クレセントビーチは、夏は海水浴に活用。他の時期の活用を考えたい。アサリ掘りなど。今提案するイベント等は持ち合わせていないが、集客場所として最適。一番近場で安全に泳げるビーチはぜひ必要です。
- ◇ 「地元でのイベント開催」老若男女一体のイベントなら楽しいと思いますが。（余談ですが、独り者にはお酒のエンジョイできる環境がほしい、交通の便）
- ◇ 「地域巡りパンフレットの印刷」「地域案内看板の設置」分かり易い道路マップ等があったらいいと思う。
- ◇ イベント（魚釣り大会、ウォーキング大会）など地域の良さを生かしたイベントの開催を望む。併せて野菜・魚等の販売が行えるようにすると更に活性化に繋がる。
- ◇ 憩いの森は、山菜取りや、桜の季節には福山方面の人がたくさん来て楽しんでいる。春だけでなく一年を通して楽しめる場所でもある。
- ◇ 高齢者が多く、新規事業は難しい・現在実施している行事だけでよい。
- ◇ 伝統文化継承について、盆踊り・百手神事、これまでの地域行事を続けて欲しい。

## ②福祉を高める会で取り組んで欲しい内容

- ◇ おたすけ号でお世話になり、大変助かっている。
- ◇ 一人暮らしの人たちへの声かけ等、見守りをしてあげたらいいと思う。
- ◇ おたすけ号にて助けていただいているが、出来れば近いところに小さな店舗を作っていただき、自分で食材を購入し、自分自身が台所に立ち、料理をすれば自分の頭を働かせ、リハビリにも活用でき、認知症の予防に役立つのではないかと思う。

## ③自治会で取り組んで欲しい内容

- ◇ 地域のイノシシ柵設置について、イノシシの被害が深刻になっているのでお願いしたい。
- ◇ マダニにより、命に関わる被害も実際に出ていると聞く。
- ◇ 畑をする気力と意欲を取り戻し交流や生きがいをできるようにしたい。楽しみで作っている農作物もイノシシにより損なわれている。被害防止で、魚・野菜の朝市などをしては如何か。

#### 4 地域まちづくり計画・事業内容

##### (1) 年次別事業計画

分野	事業内容	優先	短期 1年	中期 1～2年	長期 2～3年
①教育	*地域と保育所・小中学校の交流連携	◎			
	1 あいさつ運動への参加	○	地域や畑や通学路で日常見守る		
	7 通学路草刈り	◎			
②環境	*魅力と癒しの島づくりと環境美化	◎			
	2 内浦湾清掃	○	小学校と地域の行事に協力する		
	3 空き缶拾い	○			
	4 やぶ椿と水仙の里再生	◎			
	5 憩いの森の桜・花木植栽	◎			
	10 ミモザ道の整備	△	大畑から南の道路に咲く黄色の花		
	13 二本松公園の雑木伐採	◎			
③福祉	*高齢者に優しいまちづくりの推進	◎	福祉ボランティアの会と連携		
	*お助け号（おでかけ支援）の継続	◎	福祉を高める会へ依頼		
④活力	*他地域に学ぶ集客力のあるまちづくり	◎			
	6 憩いの森登山道の整備	○			
	22 空き家の貸し出し	◎	各自治会が主体的に市と連携		
	25 クレセントビーチの活用	◎			
	26 朝市の開催	△	課題として検討		
	32 釣り場整備	△	田島漁業に依頼		
	34 魚ミンチの販売				
	33 料理教室の開催	◎	ワクワク&いきいき講座として実施		
37 イベントの開催	○				
⑤安心 安全	*高齢者・住民の安心できる地域づくり	◎			
	*学区ボランティアの募集と育成	◎			
	11 農道避難道路の整備	◎			
	12 海岸道の草刈り整備				
	17 地域イノシシ柵の設置	◎	各自治会で協議検討		
	18 ウォーキング散歩道の整備	○			
	19 備蓄基地の確保	◎	各自治会で協議検討		
	21 避難訓練実施	◎	各自治会で協議検討		
	23 危険家屋の取り壊し	◎	各自治会で協議し、市に依頼		

分野	事業内容	優先	短期 1年	中期 1～2年	長期 2～3年
⑥歴史 文化 産業	*農業・漁業他伝統を受け継ぐ活動推進	◎	→		
	*「矢の島物語」きり絵作品の設置	◎	学区まちづくり事業として実施		
	16 史跡説明板の設置	◎	→		
	27 海苔工場の見学	○	田島漁業や業者に依頼		
	36 地産地消の推進	◎	→		
⑦ ふれあい 地域交流	*次世代育成と世代間交流の推進	◎	→		
	8 新涯住宅西にどろんこ公園整備	◎	→		
	9 動物オブジェの作成設置	○	→		
	21 食事処の設置	△	各自治会 or 業者での協議検討		
⑧ 情報発信 おもてなし	*「行くなら田島」魅力的なまちづくり 「もう一度行きたい田島」の創生	◎	→		
	14 地域巡りパンフレット作成	○	→		
	15 地域案内看板の設置	○	→		
	31 サイクリング自転車駐輪施設の設置	○	→		
	35 みかん狩りのできる農園の提供	◎	個人または農園主で協議検討		
⑨人権	*人権意識と地域の絆を高める事業の推進	◎	→		

★ 年間予算は、従来のキーワード事業予算と同じ、約30万円を見込んでいます。  
限られた予算と限られた作業人数のため、地域より要望のあった内容の中から、  
優先項目を決めて、順次取りくんでいく事になります。

## (2) 次世代育成事業および四季の風景

内浦学区の春季秋冬には、子どもや地域と親子の学び、そして生活の風景があります。



【社会教育事業 おはなしひろば】



【住宅西のどろんこ公園予定地】



【180度展望の二本松公園】



【島四国8 8霊場札所巡り】



【大漁さかな祭り 箱崎】



【厳冬の海苔刈り作業】



【クレセントビーチ西海岸】



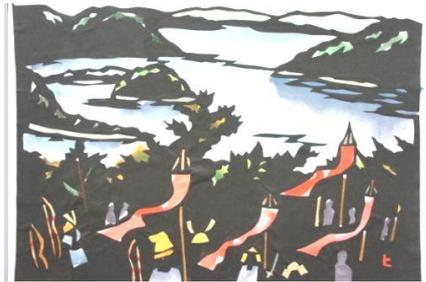
【いきいき楽習 切り絵教室】



【ワクワクひろば おはなし会】

### (3) 古戦場「矢の島」と源平合戦「矢の島伝説」

クレセントビーチの沖合に浮かぶ小さな島は、なぜ、「矢の島」と呼ばれるようになったのでしょうか。



矢の島ものがたり 今から750年前、源平の合戦があり、源氏は白旗を、平家は赤旗を掲げて戦いました。



屋島の戦いに破れた平氏は、鞆の浦から沼隈へ落ち、源氏の武者は落人を追いかけてきました。二人は、白浜から小舟に乗り、小さな島をめざし逃げたのです。



騎馬武者は、弓を引き絞り、矢を放ったのです。矢は、小島に着いた落人の胸を居抜き、息絶えたのです。それを見た奥方は、悲しみのあまり自害し果てたのでした。



悲しいかな落人。椿の花も散りました。時が流れ、季節は春。矢の根元から竹が芽を吹き、葉をつけました。椿の花も咲きました。竹は年ごとに増え、やがて島全体に広がり、いつしか、この島は「矢の島」と呼ばれるようになったということです。

【内浦切り絵サークル作品集より】

#### ☆「里山資本主義」の到来

現在は、テレビや新聞で紹介されるように、海や山や空、風景や風物、行事、そして暮らしや住んでいる人そのものが、貴重な財産であると言えます。まさに、里山・里海が、かけがえのない資本となる時代です。この「矢の島伝説」や「大椋樹」の風景も伝えたい宝です。ご指導いただきました佐々木ふさ子先生に、心よりお礼申し上げます。



## 5 ようこそ「多島美と癒しの里」へ

行くとしたら田島 美味しい魚に青い海  
瀬戸内を行き交う船 沖に浮かぶ島  
海の向こうに霞む 四国の街と山  
波の音に潮風に 草を食む山羊  
水仙の香りに 悠久の時  
忘れかけた 生きる力が再び  
また来たい訪ねたい島 田島



【2014冬 海を背に遊ぶ 海幸チョッピー】

### 内浦学区キーワードモデル事業「やぶ椿と水仙の里」再生 (2010～2013)



【きり絵 「やぶ椿と水仙」 佐々木ふさ子作】



内浦学区地域まちづくり計画

福山市内浦学区まちづくり推進委員会